

2024

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2025

1

2

3

4/13～5/26

特別展

# 雪舟伝説—「画聖」の誕生—

日本で雪舟ほどよく知られた画家はいないでしょう。雪舟は6件もの作品が国宝に指定されており、間違いなく日本美術史を代表する画家の一人です。桃山時代の雲谷派や長谷川派、江戸時代の狩野派だけではなく、実にさまざまな画家たちが雪舟を慕い、その作品に学びながら、新しい絵画世界を切り開いていきました。本展では、主に近世における雪舟受容をたどることで、「画聖」と仰がれる雪舟への評価がいかにして形成されてきたのかを考えます。



重要文化財 四季花鳥図屏風 右隻 雪舟筆  
京都国立博物館蔵(通期展示)



竹梅双鶴図 伊藤若冲筆 東京・出光美術館蔵(4月30日～5月26日展示)



富士三保清見寺図 伝雪舟筆 東京・永青文庫(通期展示)

6/18～8/4

修理完成記念 特別公開

# 重要文化財 縹系威胴丸

「縹系威胴丸 兜・大袖付 附旗一旗」は松平定信が編纂した『集古十種』にも収録された名品で、那須与一で有名な那須家に伝来しました。甲冑は金属の部品だけでなく、糸や布、革、漆など様々な素材を組み合わせた総合芸術です。必ずしも頑丈な材料ばかりではないことから、この胴丸も経年による損傷が激しく、次世代に伝えるためにも修理が不可欠でした。このたびバンク・オブ・アメリカの助成により修理が完成したことを記念して特別公開いたします。

特別公開  
—会場—  
平成知新館  
1F-5



重要文化財 縹系威胴丸 京都国立博物館蔵

6/18～8/4

豊臣秀次公430回忌 特集展示

# 豊臣秀次と瑞泉寺

豊臣秀吉の甥として生まれた秀次は、関白にまで上り詰めたものの、次第に秀吉と疎遠になり、ついには自害に追い込まれました。災禍は妻子にも及び、縁者はすべて京都の三条河原で処刑されました。瑞泉寺は、秀次一族の菩提を弔うためにその処刑地跡に建てられました。豊臣秀次の430回忌にあたる当年、瑞泉寺が所蔵する秀次一族に関わる作品を中心に、瑞泉寺の寺宝を紹介します。



秀次公縁起(部分) 京都・瑞泉寺蔵

特集展示  
—会場—  
平成知新館  
1F-2～4

10/8～12/1

特別展

# 法然と極楽浄土

浄土宗の祖・法然(法然房源空、1133～1212)は、平安時代末～鎌倉時代初めの混迷期、「南無阿弥陀仏」の名号を称えることによって誰もが等しく阿弥陀仏に救われ、極楽浄土に往生できることを説き、多くの支持を得ました。本展では、令和6年(2024)に浄土宗開宗 850年を迎えることを機に、法然による開宗から、弟子たちによる諸流派の創設と教義の確立、徳川将軍家の帰依によって大きく発展を遂げるまでの歴史を、国宝、重要文化財を含む貴重な名宝によってたどります。



国宝 法然上人絵伝 巻第六(部分)  
京都・知恩院蔵(10月8日～10月20日展示)

特別展  
—会場—  
平成知新館



重要文化財 阿弥陀如来立像 浄土宗蔵(半期展示)

8/7～9/8

上田コレクション収蔵記念 特集展示

# 密教図像の美

戦後、医業のかたわら、密教図像の蒐集に尽力し、個人としては日本最大級のコレクションを形成した故上田治氏。このたび、ご遺族よりこの貴重なコレクションの大半を当館へ譲渡・寄贈いただいたことを記念し、長らく公開の機会を得ず、幻のコレクションとなっていた作品群を展示いたします。上田コレクションは、多くが平安～鎌倉時代の作品で占められており、伝来が明らかで歴史的価値だけでなく、美術的価値も高いものです。この機会に、密教図像の魅力に気づいていただければ幸いです。



大悲心陀羅尼并四十二臂図像(部分) 京都国立博物館蔵

特集展示  
—会場—  
平成知新館  
1F-2-3

1/2～2/2

新春特集展示

# 巳づくし—干支を愛でる—

新春恒例、干支がテーマの特集展示です。2025年の干支、巳(蛇)にちなんで、美術の中の蛇が大集合します。子どもから大人まで、幅広い層に楽しんでいただきたいと思います。



草花獅子蛇文様金華布裂(部分) 京都国立博物館蔵

特集展示  
—会場—  
平成知新館  
1F-2

2/15～3/23

特集展示

# 雛まつりと人形

関西地方で流行した華やかな御殿飾り雛を中心に、各種の雛人形とさまざまな京人形を紹介する恒例の展示です。

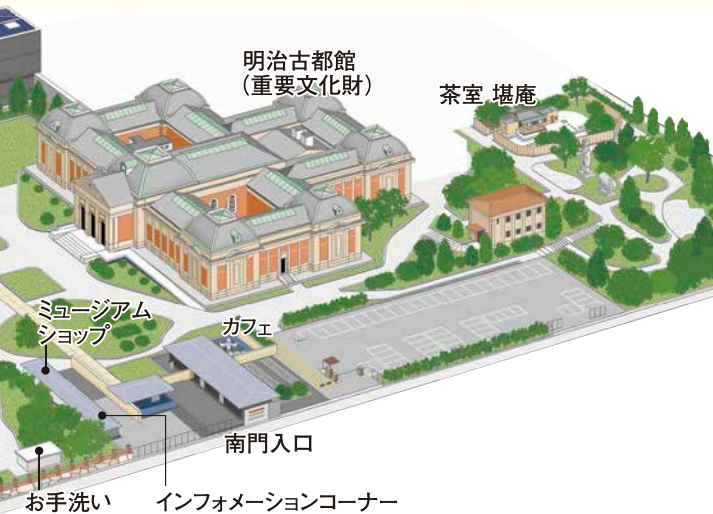


享保雛(大内雛) 京都国立博物館蔵

特集展示  
—会場—  
平成知新館  
1F-2

※出陳作品および展示期間は、都合により変更される場合があります。





# 京都国立博物館 年間スケジュール KYOTO NATIONAL MUSEUM Exhibition Schedule 2024.4 — 2025.3



## 音声ガイド

平成知新館名品ギャラリーでは、音声ガイド(有料)をお楽しみいただけます。日本語、英語、中国語、韓国語のほか、ジュニア版も4か国語でご用意しています。

## 講堂〈シアター〉

平成知新館地下1階の講堂では、収蔵品に関する特別番組を、350インチの大画面でご覧いただけます。また、上方落語の上演などの有料のイベントも行っています。上映予定や、イベント詳細については、随時ウェブサイトをご確認ください。

## 関連講座など

平成知新館講堂では、展覧会や展示作品に関連した講座を随時行っています。講座の予定は、博物館だよりやウェブサイトなどでお知らせします。

## 夏期講座

さまざまな分野の研究者が一つの共通のテーマに沿って、最新の研究成果を盛り込んだ発表を行う集中講座を、毎年夏に開催しています。今年度は「変革の時代—16世紀」というテーマで7月26日(金)・27日(土)に行います。1日3講、計6講座です。

\*定員200名、有料、要事前申込。  
会場：平成知新館 講堂

表紙：国宝 天橋立図(部分) 雪舟筆 京都国立博物館蔵



## ご利用案内



開館時間 9:30～17:00 金曜日は20:00まで開館

※入館は各閉館の30分前まで  
詳しくはウェブサイトなどをご覧ください  
特別展期間中は開館時間が変更されることがあります

名品ギャラリー (平常展示) 観覧料	一般	700円	高校生以下および 満18歳未満、満70歳以上、 障害者とその介護者1名、 キャンパスメンバーズ(含教職員) ※すべて要証明	無料
	大学生	350円		

※特別展については、そのつど定めます。  
また、特別展期間中、名品ギャラリーは休止します。  
※名品ギャラリー展示室は、展示作業などのため、一部休室となる場合があります。詳しくはウェブサイトなどをご覧ください。

休館日 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館し、翌火曜日休館)

※4月29日(月・祝)から5月6日(月・休)までは続けて開館し、  
5月7日(火)休館。

全館休館 4月12日(金)、12月29日(日)～2025年1月1日(水・祝)

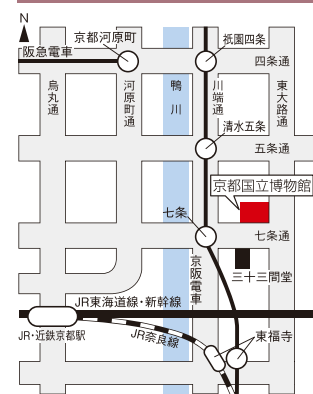
※都合により臨時休館する場合があります。  
随時ウェブサイトなどでお知らせします。

名品ギャラリー 休館日	5月28日(火)	～	6月16日(日)
	9月10日(火)	～	10月6日(日)
	12月3日(火)	～	12月28日(土)
	2025年3月25日(火)	～	4月17日(木)

名品ギャラリー休館期間は、下記の料金にて庭園の屋外展示をご覧いただけます

一般	300円	高校生以下および 満18歳未満、満70歳以上、 障害者とその介護者1名、 キャンパスメンバーズ(含教職員) ※すべて要証明	無料
大学生	150円		

※有料(一般のみ)にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がつきます。



ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております

## 京都国立博物館

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527 TEL 075-525-2473 (テレホンサービス)  
<https://www.kyohaku.go.jp/>

一般社団法人 清風会の支援を受けて作成しました 2024年2月

## Museum Map

### 京都国立博物館マップ



## 平成知新館

設計はニューヨーク近代美術館新館、東京国立博物館法隆寺宝物館などを手掛けた谷口吉生氏。日本的な空間構成を取り入れた直線を基調とする展示空間には、陶磁・考古・絵画・書跡・工芸・彫刻といった分野ごとに展示室が設けられています。各展示室ではさまざまなテーマのもと、館藏品・寄託品を取り交えて展示しており、京文化の粋をお楽しみいただけます。作品保護のため1か月～1か月半ごとに展示替えを行っているため、足を運ぶたびに新しい作品との出会いがあります。

## 明治古都館(重要文化財)

当館のシンボルともいべきレンガ造りの建物。設計者は赤坂離宮(迎賓館)なども設計した、日本で唯一ともいえる宮廷建築家の片山東熊。ヨーロッパの華麗なバロック様式を取り入れながら、東山の自然に調和した美しい景観を作り出しています。玄関の上にある三角形の破風には、仏教世界の美術工芸の神とされる毘首羯磨と伎芸天の像が彫刻されており、表門、札売場および袖塀とともに国の重要文化財に指定されています。免震改修などの基本計画を進めるため、現在展示は行っていません。

## 茶室 堪庵

昭和33年(1958)に上田堪一郎氏より寄贈された、金森宗和好みの真珠庵「庭玉軒」を写したとされる数寄屋造りの茶室です。内部をご覧いただけるほか、茶会などにもご利用いただけます(茶室利用は有料、要予約)。